

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	(仮称) 郷土資料館整備事業			事業番号	13-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀 博久	教育総務課歴史文化担当	立花 実	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	13	歴史・文化遺産の活用と継承	
予算事業名	(仮称) 郷土資料館整備事業				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成27年度	～	終了年度	—
関連法令等	文化財保護法、伊勢原市文化財保護条例				
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画、伊勢原市歴史文化基本構想		計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・市域に所在する多くの文化財を紹介する常設展示施設が求められています。 ・地域活性化を進める上で、日本遺産を含む市域の文化財が有効な資源となっています。 				
目的 (何をどうしたいのか)	市民から寄贈を受けた土地・建物を有効活用し、市内外の様々な人に地域の歴史と文化財を公開する(仮称)郷土資料館としての整備に向けた検討を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び市への来訪者				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に向け、具体的な施設のあり方について検討を進めます。 ・(仮称)郷土資料館として供用開始するまでの間においては、認定された日本遺産の構成文化財や市内の貴重な文化財等を紹介する仮設的な展示会を開催し、活用を図ります。 ・施設と敷地の適正な維持、管理を図ります。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設のあり方の検討	検討	検討	検討	
	施設を利用した展示会等の開催	実施	実施	実施	
	施設維持・管理	実施	実施	実施	
目 標	【指標名】	年度			
	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設を利用した展示会等の開催件数	1回 (平成28年度)	2回	2回	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)					
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設のあり方の検討	検討			
	施設を利用した展示会等の開催	実施			
	施設維持・管理	実施			
実施した取組の内容	寄贈を受けた施設を利用し、日本遺産の紹介と市民活動の発表を兼ねた文化財フェスタ、寄贈資料等を活用した古文書講座を開催しました。施設については、適正な維持管理に努め、また、今後のあり方についての検討を行いました。				
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度		
	施設を利用した展示会等の開催件数	1回 (平成28年度)	平成30年度 1回	令和元年度	令和2年度

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		2,477		千円		0		千円		0		千円		
	内訳	国県支出金 ①		0		千円		0		千円		0		千円	
		地方債 ②		0		千円		0		千円		0		千円	
		その他特財 ③		0		千円		0		千円		0		千円	
		一般財源 (a)-①-②-③		2,477		千円		0		千円		0		千円	
	国県支出金の内容														
	その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無				前回の改定時期							
		その他													
	人件費	正規職員		0.5	人	4,255	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)		0.5	人	4,255	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)				6,732	千円			0	千円			0	千円	
	単位当たりコスト	対象数	定義		展示会・講座の参加者数				単位						
			対象数		189		人								
総事業費 / 対象数				35,619	円			円			円				

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	台風により、庭木と建物の一部に被害が出ましたが、適宜必要な修繕を実施しました。施設の利用としては、日本遺産を紹介する展示会である「文化財フェスタ」を秋に実施しましたが、荒天のため参加者が少なく、また、予定していた春については資料移動のため開催できませんでした。古文書講座については当初の予定を越え、4回開催することができました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	神奈川県内には市民からの寄贈施設を展示施設として利用している事例が少なく、比較は難しい状況です。施設の規模や条件を踏まえたうえで、今後の施設のあり方を検討していく必要があります。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	施設については利用価値が高いものの、個人の住宅であったことから利用方策には制約があります。今後の検討により、ふさわしい施設の活用策を示していく必要があります。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	台風被害があったものの、維持管理については必要最低限の経費で対応しました。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	既存施設を資料の展示・公開、日本遺産の情報発信、観光スポット案内等の機能を有する施設として整備していくためには、目指すべき施設のあり方を明確にしたうえで、バリアフリー化等の基本的な環境整備を行う必要があります。そして、本格稼働に当たっては、法的な位置づけとともに、施設の運営方法や駐車場等付属施設の整備も課題となります。
令和元年度の取組方針		施設と敷地の適正な維持管理を図りながら、認定された日本遺産の構成文化財や市内の貴重な文化財等を紹介する仮設的な展示会等を開催し、また、寄贈、収集資料の整理場所として活用を図ります。また、施設整備に向け、施設のあり方について検討を進めます。		
所管部長による総評		施設を適正に維持管理しながら、有効利用を図るため、市域の市民団体等と連携して、文化財の公開、活用事業を実施していきます。		